

「移動の足」確保プロジェクト 実証運行計画



公園



病院



スーパー



郵便局

多賀城市地域公共交通協議会

【目次】

1.	背景・目的	1
2.	実証運行の基本方針	4
3.	実証運行計画	5
4.	事業効果	29
5.	スケジュール	31

1. 背景・目的

多賀城市地域公共交通協議会では、地域の課題や地域公共交通の現状・問題点などを踏まえ、交通事業者等をはじめとする地域関係者と連携し、多賀城市の地域特性に合わせた利便性が高く、効率的かつ持続可能な地域公共交通の構築を目指すため、地域公共交通のマスタープランとして、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）」に基づく「多賀城市地域公共交通計画（以下、「地域公共交通計画」という）」を令和7年3月に策定しました。

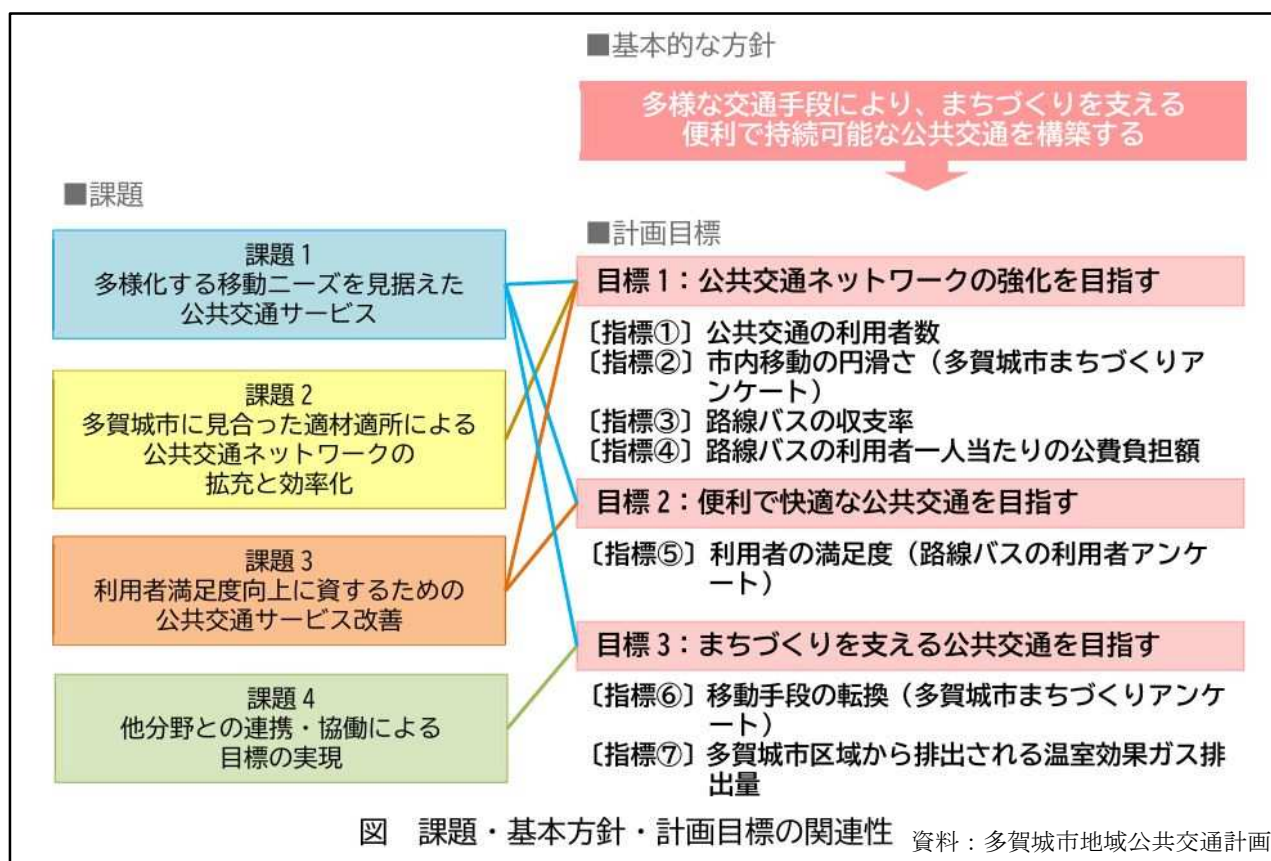
地域公共交通計画では、「多様な交通手段により、まちづくりを支える便利で持続可能な公共交通を構築する」を基本的な方針に掲げ、その実現に向けて各種施策・事業を推進することとしています。

一方で、多賀城市内の一部地域においては、バス停等から離れた交通不便地域が存在しています。

また、地域公共交通計画の策定にあたり実施したアンケート調査等では、既存公共交通利用者の半数以上を高齢者が占めており、買い物や通院等の利用目的から日常生活を支える「移動の足」確保に対するニーズが高いことが明らかとなっています。

さらに、健康増進や地域との関わりの観点からも、外出機会の確保が重要視されています。

このような状況を踏まえ、交通不便地域の解消及び持続的な高齢者等の「移動の足」確保に向けて、地域特性等を踏まえた対応策を検討し、その有効性や運行上の課題を検証するための実証運行を実施することを目的とします。



目標 1：公共交通ネットワークの強化を目指す

施策 1-1 公共交通ネットワークの再構築

重点施策

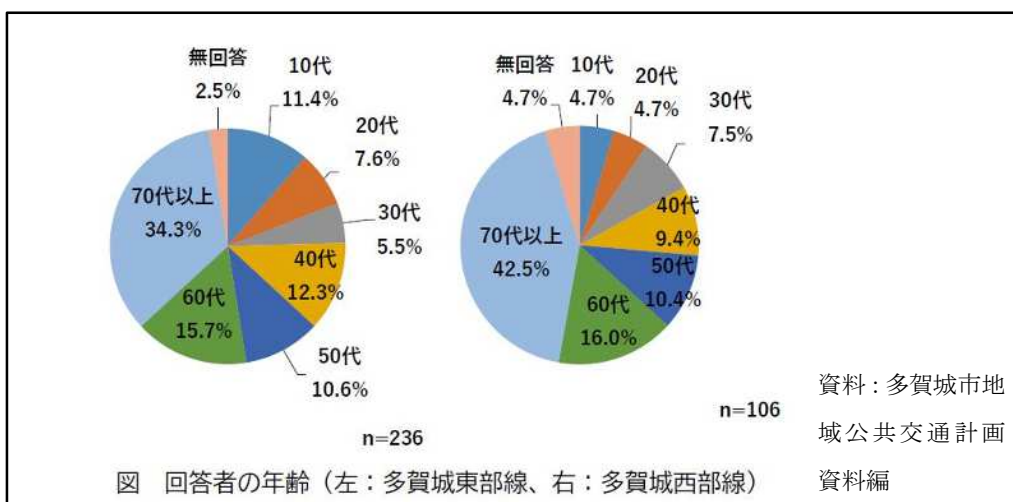
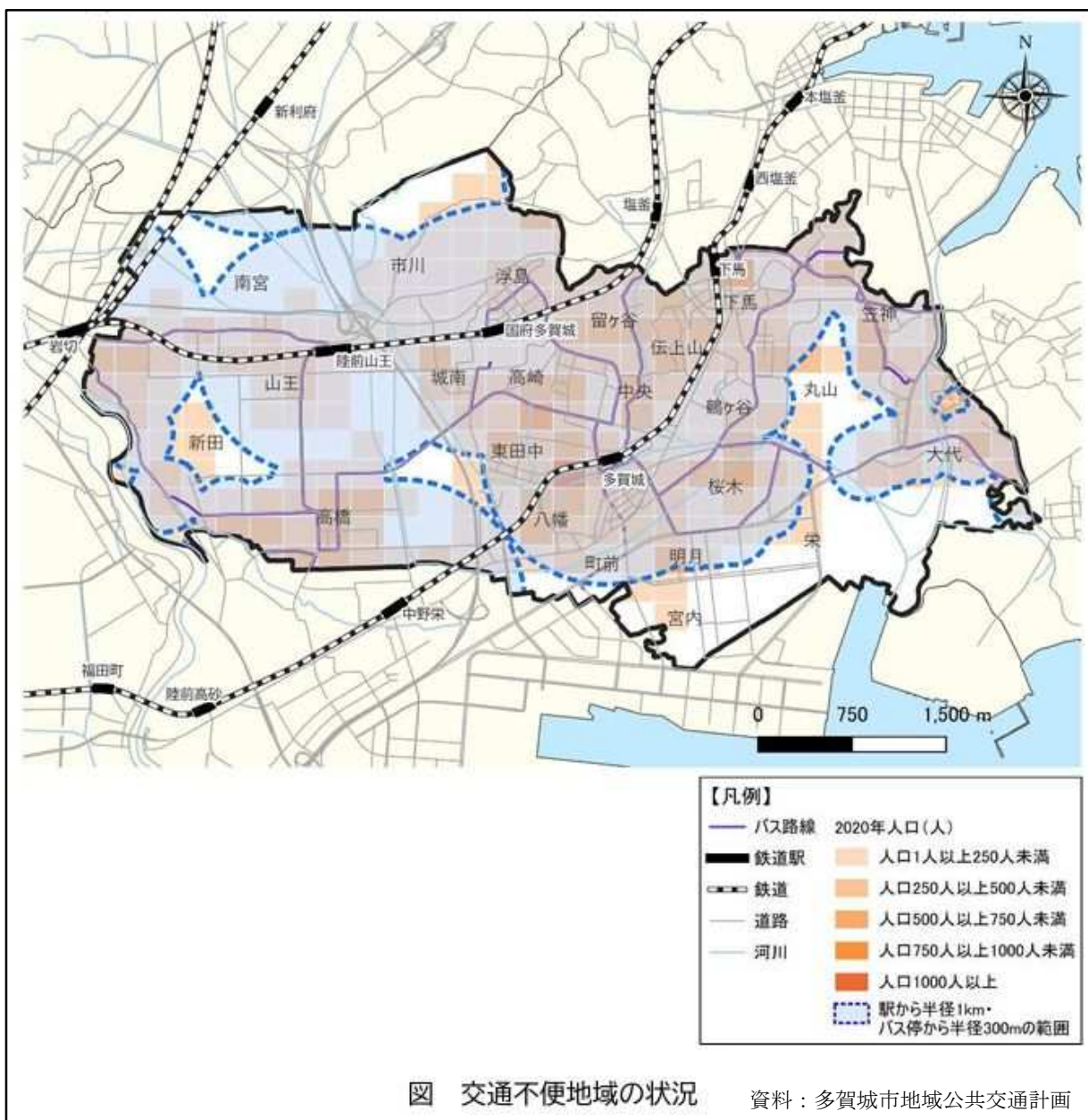
■ねらい

- ・既存の利用者への影響を踏まえつつ、更なる公共交通ネットワークの強化や需要と供給のバランスを踏まえた運行の効率化を図ります。
- ・東部エリアの一部交通不便地域において、地域特性や住民ニーズ等を踏まえた対応策を検討し、交通不便地域の解消を図ります。
- ・最適な交通モードの配置により、公共交通の最適化を図ることによって、収支率の改善に繋がります。

■取組イメージ（案）

- ・地域内交通の再編（多賀城東部線・多賀城西部線の運行のあり方検討、車両の縮小化など）
- ・交通不便地域の解消（実証運行の企画・実施、国や県の補助事業の活用など）
- ・他地域の先進事例などの収集・調査

資料：多賀城市地域公共交通計画



2. 実証運行の基本方針

「移動の足」確保プロジェクト実証運行の基本方針を下記のとおりとします。

(1) 交通不便地域の解消に資するルートの設定

地域公共交通計画において位置付けられている交通不便地域の解消を図るため、当該地域を運行エリアに含むルートを設定し、交通不便地域の解消を目指します。

(2) 高齢者の生活行動を踏まえた運行内容の設定

地域公共交通計画策定時に実施した調査では、既存公共交通利用者の半数以上を「60代以上」が占めていることから、本実証運行では、高齢者を主な利用者として想定し、買い物、通院等の生活行動を踏まえ、利用ニーズの高い平日や時間帯において運行を実施することで、「移動の足」確保に加え、外出機会の創出による健康増進や社会参加の促進を図ることとします。

(3) 将来的な公共交通ネットワークの再構築を見据えた実証運行の実施

本実証運行は、地域公共交通計画に掲げる公共交通ネットワークの再編及び最適化を見据えた取組として位置付け、実証運行を通じて利用実態や移動ニーズ等を把握・分析し、将来的な路線再編や持続可能な公共交通ネットワーク構築に向けた検討につなげます。

(4) 持続可能な運行を見据えた効率的な車両規模の設定

対象エリアの特性や既存公共交通の利用状況を踏まえ、中型バス等よりも小型の車両を活用することで、面的なサービス提供と効率的な運行の両立を図ります。

併せて、需要に応じた適切な車両規模を検証し、持続可能な運行形態の確立を目指します。

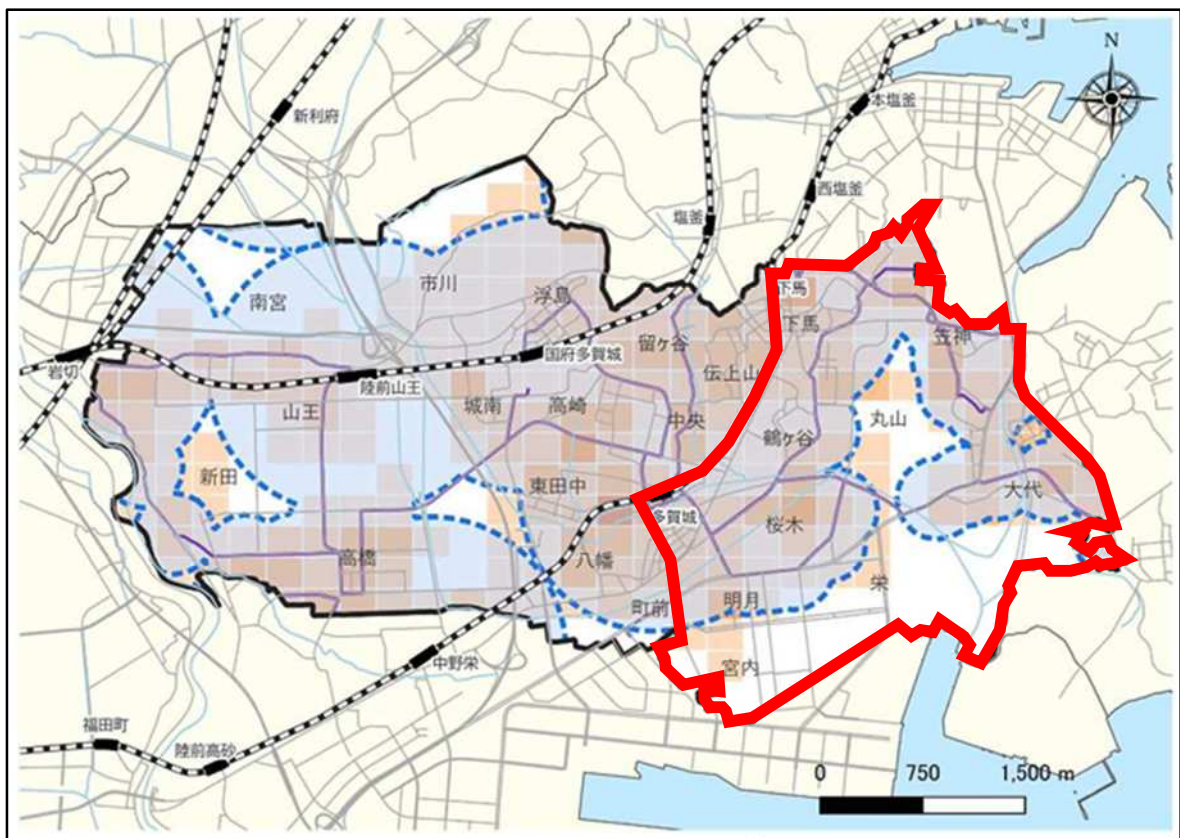
3. 実証運行計画

(1) 事業主体

多賀城市地域公共交通協議会

(2) 実証運行エリア

地域公共交通計画において位置付けられている交通不便地域の状況や活用する国庫補助事業（令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト）の対象期間等を踏まえ、交通不便地域の解消や「移動の足」確保に向けた有効性を検証するため、市内東部エリアを実証運行エリアとして選定します。

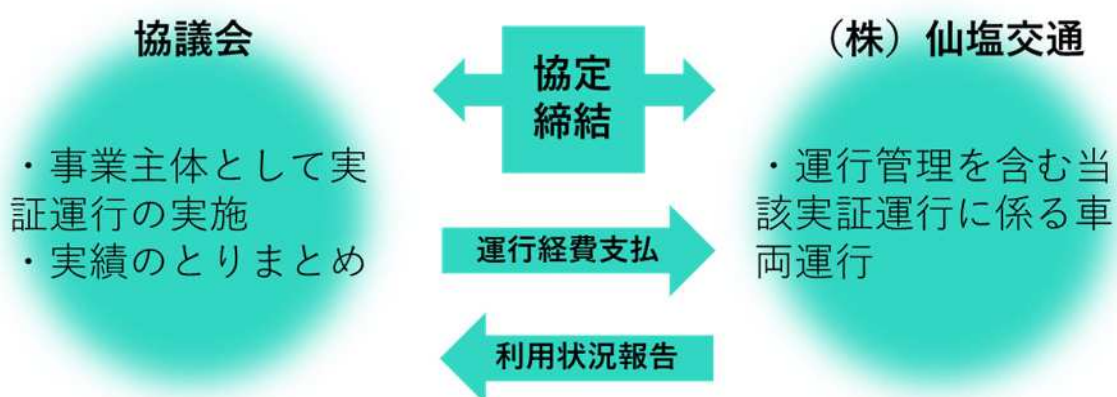


資料：多賀城市地域公共交通計画（交通不便地域の状況）

(3) 車両運行交通事業者

本実証運行は、将来的な道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業としての本格運行への移行可能性を検証するものであり、加えて運賃へ「のるもんパス（65歳以上の市民または障害者手帳をお持ちの市民の運賃全額免除制度）」の適用を想定しています。

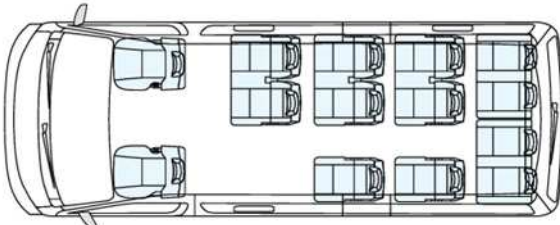
このため、一般乗合旅客自動車運送事業の許可を有し、本実証運行における運行体制の確保及び運賃制度への対応が可能な事業者を対象として参画可否を確認した結果、株式会社仙塩交通から対応可能との回答を得たことから、同社に車両運行の協力を依頼するものとします。



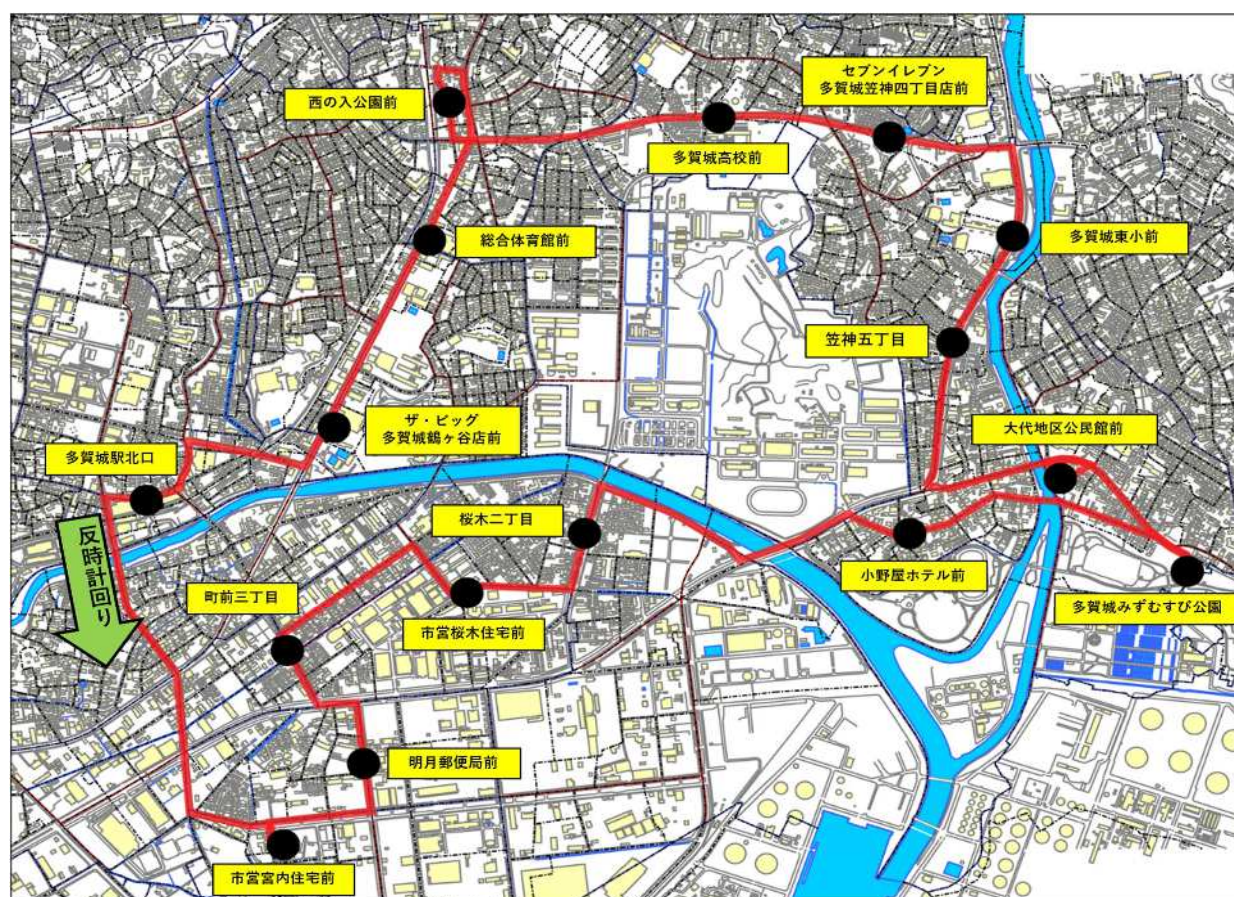
(4) 実証運行内容

No.	項目	内容
1	運行形態	路線定期運行
2	許可区分	道路運送法第 2 1 条
3	路線系統名	多賀城東部おでかけ実証便
4	運行ルート概要	起点・終点：多賀城駅北口 主な経由地：市営宮内住宅、明月郵便局、市営桜木住宅、小野屋ホテル、多賀城みずむすび公園、大代地区公民館、多賀城東小、セブンイレブン多賀城笠神四丁目店、多賀城高校、総合体育館、ザ・ビッグ多賀城鶴ヶ谷店 1 便当たりキロ程：11.3 km 1 便当たり所要時間：50 分
5	実証運行期間	令和 8 年 1 0 月 1 日から令和 9 年 1 月 3 1 日まで
6	運行時間帯	午前 1 0 時台から午後 3 時台まで
7	運行日	平日のみ運行（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（令和 8 年 1 2 月 3 0 日から令和 9 年 1 月 3 日まで）を除く）
8	運行便数	1 日当たり 5 便
9	バス停留所数	1 6 か所

No.	項目	内容
10	運賃	・大人（中学生以上）200円 ・小人（小学生）100円 ・未就学児（大人1名につき）2名まで無料 ・障害者（市外在住） 半額 ・のるもんパス（65歳以上の市民または障害者手帳をお持ちの市民の運賃全額免除制度）無料 ※一方向の循環路線の特性上、目的地へ到達するために終点である「多賀城駅北口」で一度降車し、次便へ乗車が必要となる利用者に対しては、乗継証明書を交付し、次便への乗継ぎに限り無料とします。 （例）ザ・ビッグ多賀城鶴ヶ谷店前から多賀城高校前まで ※本格運行へ移行する際には、実証運行の利用状況等を踏まえた適切な運賃を設定することとします。

No.	項目	内容
1 1	運行車両	ハイエースコミューター 1台（14人乗り（乗務員席等含む））  全長5.38m／全幅1.88m／全高2.285m   単位(mm) 資料：トヨタ ハイエース WEB カタログ

(5) 運行ルート・停留所位置



<運行ルート・停留所位置設定の考え方>

- 地域公共交通計画に位置付けられている交通不便地域の解消を図るため、当該地域を運行ルートに含む。
- 広域移動需要への対応のため、鉄道駅へ接続する。
- 買い物、通院等の日常生活に必要な移動への対応のため、商業施設、医療機関、郵便局等の生活関連施設近辺へのアクセスに配慮する。
- 利便性の確保と効率的な運行の両立を図るため、1 循環当たりの運行時間を 1 時間以内とする。
- 健康増進及びウォカブルなまちづくりの推進を図るため、利用者の歩行機会の創出に配慮した停留所配置とする。

(6) 運行ダイヤ

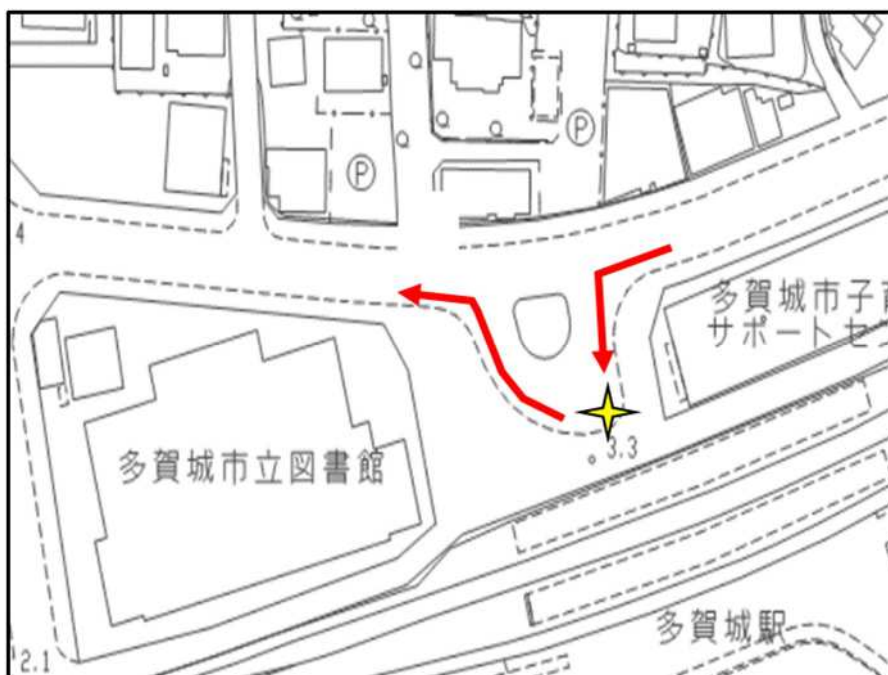
番号	停留所名	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
1	多賀城駅北口	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00
2	市営宮内住宅前	10:06	11:06	13:06	14:06	15:06
3	明月郵便局前	10:08	11:08	13:08	14:08	15:08
4	町前三丁目	10:11	11:11	13:11	14:11	15:11
5	市営桜木住宅前	10:13	11:13	13:13	14:13	15:13
6	桜木二丁目	10:14	11:14	13:14	14:14	15:14
7	小野屋ホテル前	10:18	11:18	13:18	14:18	15:18
8	多賀城みずむすび公園	10:21	11:21	13:21	14:21	15:21
9	大代地区公民館前	10:23	11:23	13:23	14:23	15:23
10	笠神五丁目	10:27	11:27	13:27	14:27	15:27
11	多賀城東小前	10:29	11:29	13:29	14:29	15:29
12	セブンイレブン多賀城笠神四丁目店前	10:32	11:32	13:32	14:32	15:32
13	多賀城高校前	10:34	11:34	13:34	14:34	15:34
14	西の入公園前	10:37	11:37	13:37	14:37	15:37
15	総合体育館前	10:40	11:40	13:40	14:40	15:40
16	ザ・ビッグ 多賀城鶴ヶ谷店前	10:42	11:42	13:42	14:42	15:42
17	多賀城駅北口	10:50	11:50	13:50	14:50	15:50

※ 利用者の利便性向上及び分かりやすい運行体系の構築を図るため、起点となる「多賀城駅

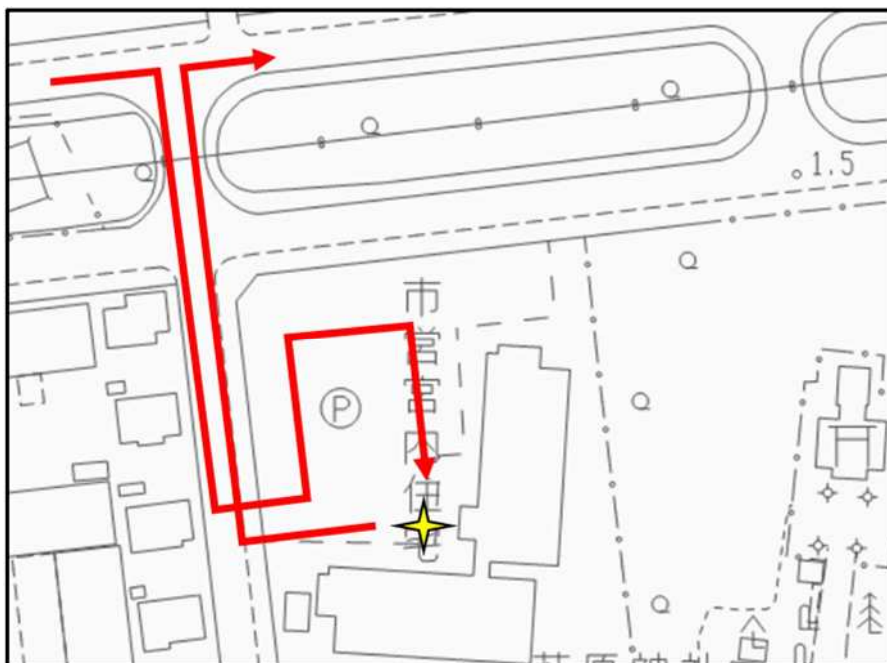
北口」を毎時00分に出発するパターンダイヤを設定する。

(7) 停留所詳細

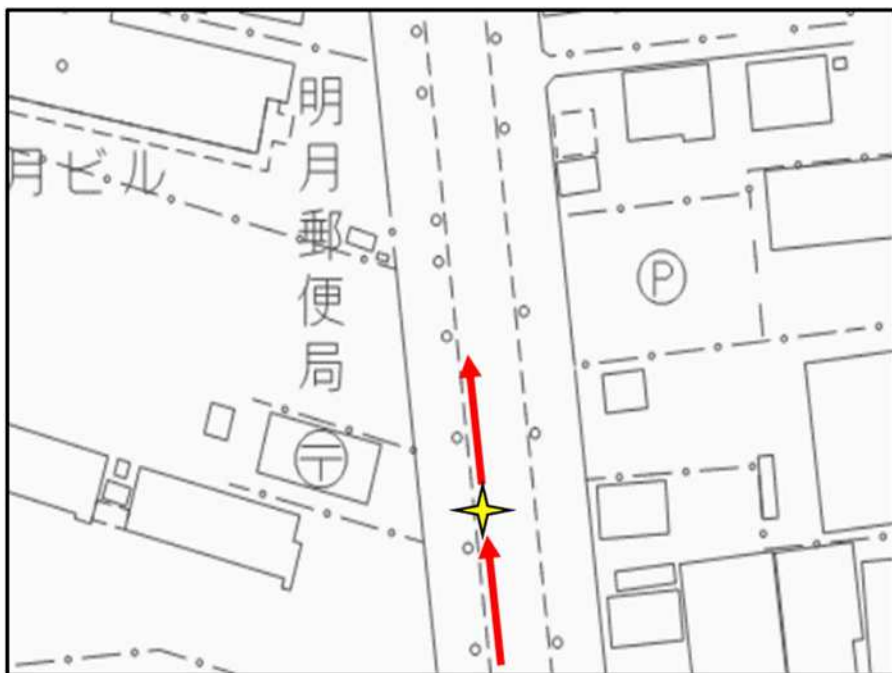
① 多賀城駅北口



② 市営宮内住宅前



③ 明月郵便局前



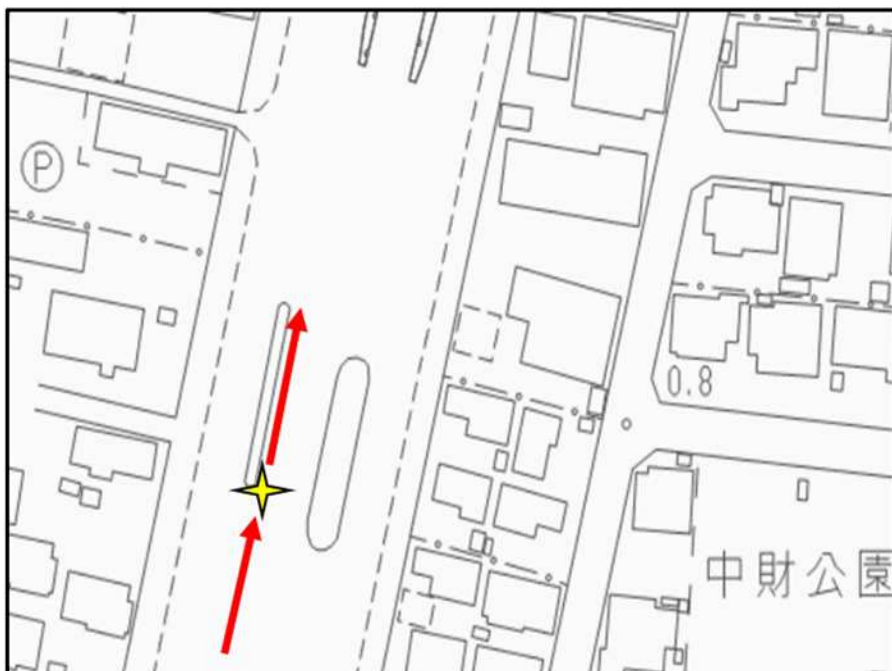
④ 町前三丁目



⑤ 市営桜木住宅前



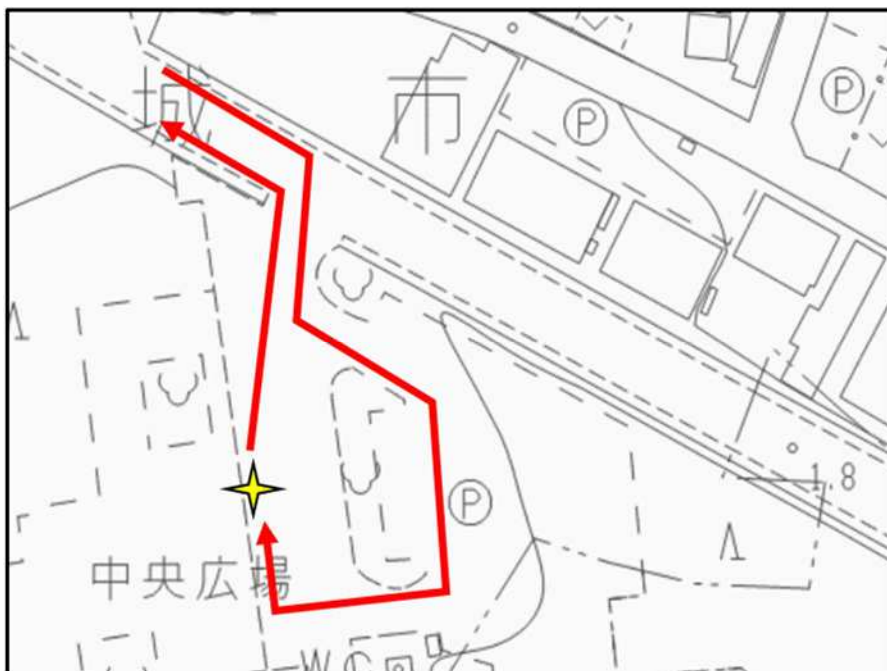
⑥ 桜木二丁目



⑦ 小野屋ホテル前



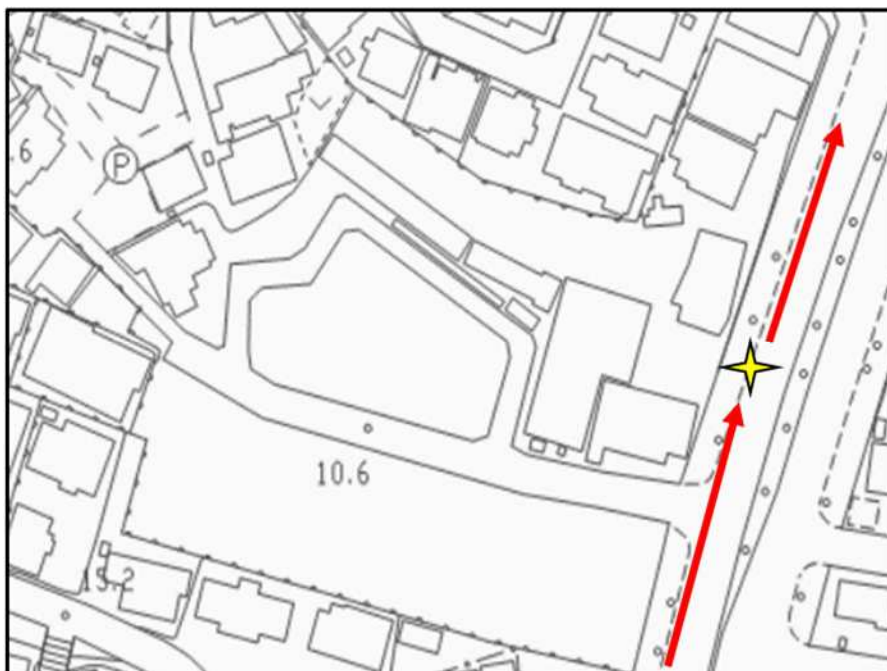
⑧ 多賀城みずむすび公園



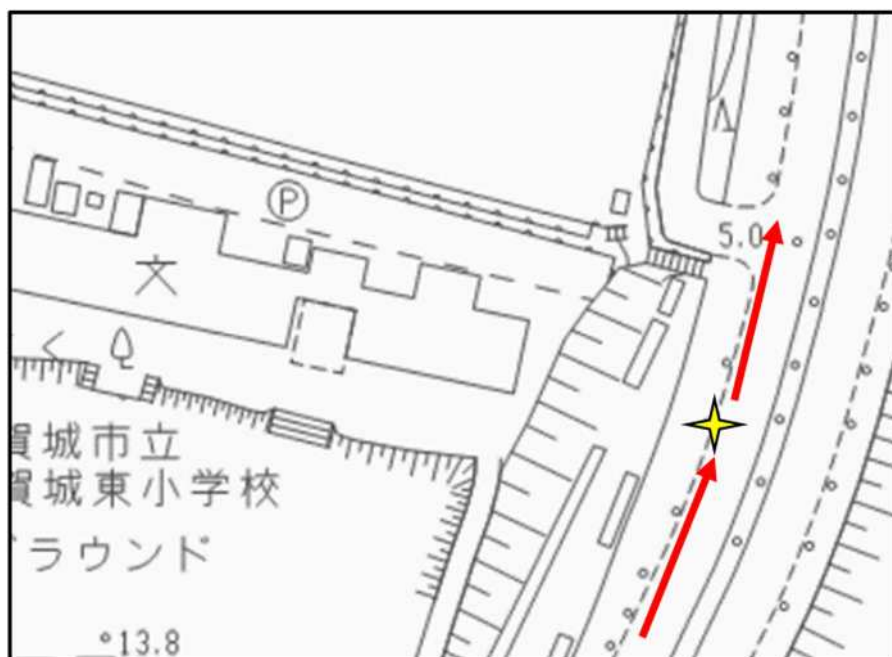
⑨ 大代地区公民館前



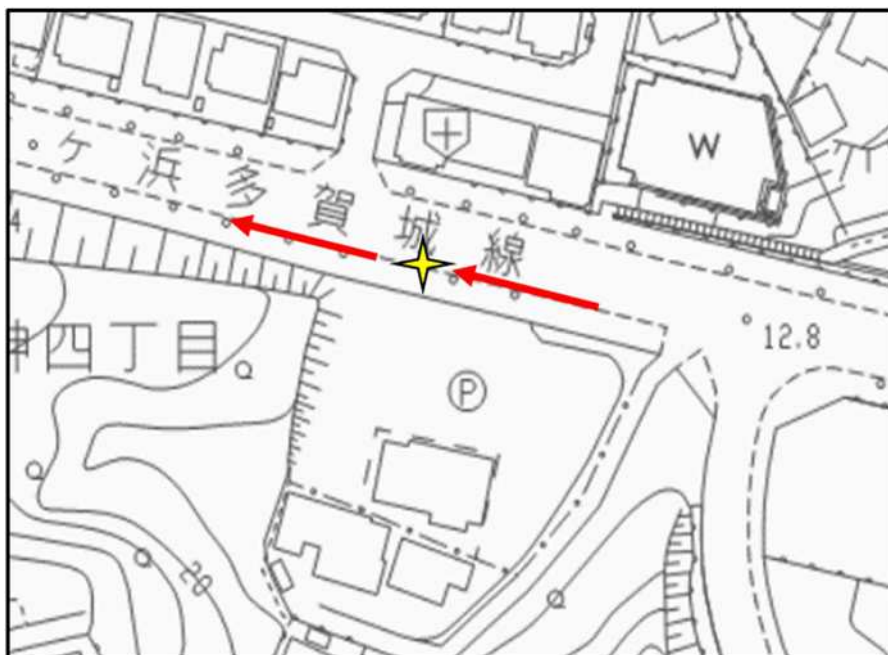
⑩ 笠神五丁目



⑪ 多賀城東小前



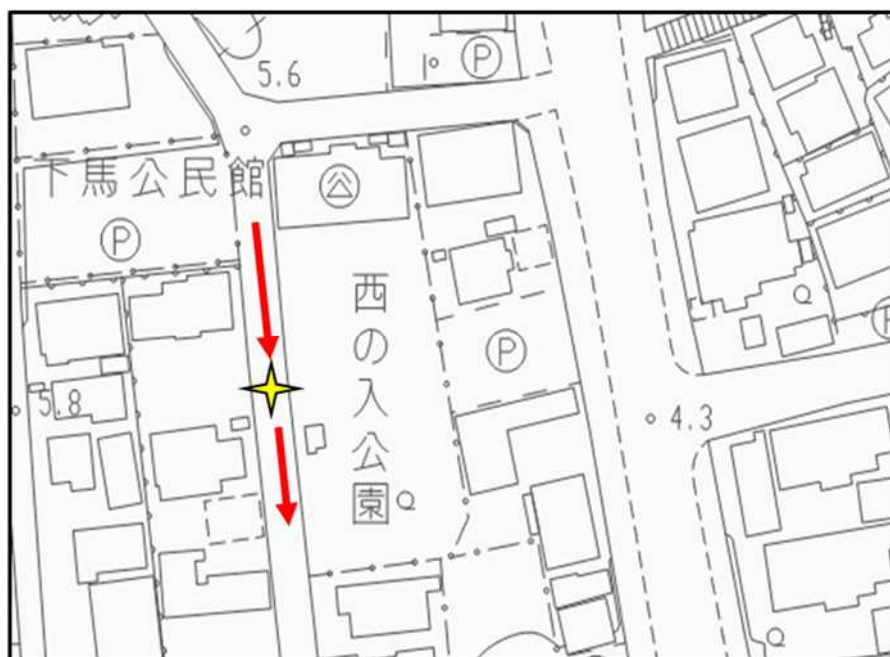
⑫ セブンイレブン多賀城笠神四丁目店前



⑬ 多賀城高校前



⑭ 西の入公園



※ 停留所標識については、公園入口や道路への設置が支障となるため、公園管理者と協議し、公園フェンスへの掲出とする。

⑮ 総合体育館前



⑩ ザ・ビッグ 多賀城鶴ヶ谷店前



(8) 事業費用（予定）

番号	用途の詳細	金額（千円）
1	運転手人件費	2,750
2	燃料費	218
3	車両維持・修繕費	935
4	日常運行管理費（運行日報処理・運行指示等）	4,406
5	バス停留所設置費	1,650
6	実証運行車両費用（リース）	722
7	その他費用	748
合 計		11,429

(9) 財源内訳（予定）

番号	区分	金額（千円）
1	国庫補助金 （令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト）	8,053
2	県補助金（宮城県地域公共交通利活用促進事業費補助金）	763
3	運賃収入※	304
4	市負担金	2,309
合 計		11,429

※ 運賃収入については、1便あたり平均8人の利用者を想定し、以下の1月あたり利用者割合により算出

大人（200円）45%、小人（100円）5%、のるもんパス50%

（1月あたりの利用者）8人 × 5便 × 20日 = 800人

（大人1月あたりの運賃収入）800人 × 45% × 200円 = 72,000円

（小人1月あたりの運賃収入）800人 × 5% × 100円 = 4,000円

（実証期間（4か月）の運賃収入）（72,000円 + 4,000円） × 4か月 = 304,000円

4. 事業効果

本実証運行の実施により、市内の交通不便地域数の減少を図ることとします。

また、運行内容や事業の継続性について検証するために評価指標を設定し、利用実績の集計や利用者アンケートの実施により本事業に関する効果を測定するため、実証運行終了後は、事業効果を評価指標（No.2 から 4）により検証し、目標未達項目については改善策を検討した上で、本格運行への移行可能性を多賀城市地域公共交通協議会において総合的に判断します。

【評価指標】

No.	評価指標	算出方法	目標値	目標未達の場合の改善策
1	市内の交通不便地域数 （実証運行前 7 地区）	市内において駅から半径 1 km 圏、バス停から半径 3 0 0 m 圏を公共交通圏域として算出します。	 【減少】	運行ルート・停留所による代替案検討
2	実証運行の利用者数	利用実績より実証運行 1 月あたりの利用者数を確認します。	8 0 0 人／月	運行ルート・停留所・ダイヤ見直しによる代替案検討

No.	評価指標	算出方法	目標値	目標未達の場合の 改善策
3	実証運行の収支率	利用実績より実証運行 1 月あたりの運行経費と運賃収入を基に、収支率を算出します。	5 %以上	運賃設定・運賃収入外財源確保の検討による代替案検討
4	実証運行利用者の満足度	実証運行利用者に対するアンケートにて、満足度を 5 段階評価（満足している、やや満足している、どちらでもない、あまり満足していない、満足していない）で把握し、「満足している」、「やや満足している」を合算した割合を算出します。	6 0 %以上	運行内容改善による代替案検討

5. スケジュール

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■補助金交付申請									
■実証計画作成									
■各種調整									
■運行許可申請									
■実証運行									
■成果とりまとめ									
■実績報告									
★地域公共交通協議会									